



第316号

HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員
鳥居良貴 / 増井 裕 / 小原 望 / 山崎美佳
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- 平成27年度 臨時総会および講演会 開催 1~2
- 《各部局報告》 3
- 《行事予定表》 4~5
- 《賛助会員コラム》・子宮頸がん検診促進キャンペーン 『子宮の日』LOVE49 キャンペーン in KOBE 2016 開催される・《求人情報》 6~7

平成27年度 臨時総会および講演会 開催

ー 28年度事業計画・予算等が承認されましたー

平成28年3月21日 兵庫技研修センターに於いて臨時総会が開催され、審議の結果すべての議案が承認されました。

<審議経過>

総会議長に東塚伸一会員（兵庫県予防医学協会）が選出され、書記として北秋翔子会員（神戸大学医学部附属病院）を任命し、総会資格審査では、当日出席 28名、委任状出席1,290名、議決権行使書提出者 225名で会員の過半数の出席を得て総会が成立し、議案審議が開始されました。

<平成28年度 事業計画（案）（第1号議案）>

公益社団法人として公益事業に重点を置いた事業展開を行います。臨床検査技師の業務は現在、検体採取、検査の実施・報告および検査説明までがその範疇となっています。兵庫県臨床検査技師会は、臨床検査を通して県民に良質な医療を提供することをモットーとしています。そのためには、一層の学術、技術レベルの向上を図り、臨床検査に関する情報はわかりやすく県民に広報し、更には臨床検査技師が新たなものに取り組むチャレンジ精神を培う環境が必要です。

2025年には人口の1/4以上が75歳以上という超高齢化社会が到来すると言われ、医療体制も在宅医療への移行や病院の機能分化を図ろうとしています。この医療改革の中、各種コメディカルは業務を取り合っている状態です。当会は日臨技の事業活動に符合し、これらの変革に対応していく必要があります。

また、本年9月には神戸ポートアイランドでIFBLS 2016（第32回世界医学検査学会）、第63回日本臨床検査医学会学術集会、第11回日本臨床検査学教育学会学術大会、第65回日本医学検査学会が同時開催されます。兵庫県臨床検査技師会は日本医学検査学会を担当し準備を進めています。会員並びに関係各位にご理解とご支援を頂き、心に残る学会として成功させなければなら



東塚会員



りません。

平成28年度の事業計画・予算については、基本的に平成27年度の事業を継承するものです。会員の学術の向上は必須条件です。特に検査説明も始まったことから病態の理解は重要です。

事業は3つの公益目的事業(衛生思想向上事業、精度管理事業、学術事業)と2つの共益事業(会員資質向上事業、広報事業)、法人事務局事業に大別し、下記のそれぞれの事業計画案を提示、承認されました。

●事業推進局は公益目的事業の3事業を行う。

1. 公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を行う。
2. 臨床検査の標準化の推進、並びに精度管理調査及び指導を行う。
3. 学術及び技術の振興を行う。

●組織活動局は共益事業の2事業を行う。

1. 会員の交流、連携強化のため会員資質向上事業活動を行う。
2. 県民・会員への情報提供を図り、活動の推進を促す。

●法人事務局は、総務部と経理部からなり、会員管理及び法人に関する所掌事務と会計事務を行う。

<平成28年度 事業予算(案)およびその他の付随事項(第2号議案)>

総予算2,278万4千円(前年度比47万6千円減)で承認されました。

当会が、公益社団法人の監督官庁である兵庫県に「平成28年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」を兵庫県に提出することも承認されました。

中町会長がHYOGO JOURNALの巻頭言で述べられていましたように、臨床検査技師は現在、比較的、みんなが同じような業務を行っていますが、医療体制の変化にともない仕事の内容も多岐にわたると考えられます。一人一人が患者さんにとってよりよい医療を提供するにはどうすればよいかを考え行動し、積極的に新たな分野にChallengeしなければなりません。新たな診断法の開発や病態の解明にも挑戦しなければなりません。新たなことにChallengeすることは社会貢献の増大につながります。

日本医学検査学会のメインテーマは「Challenge」、サブテーマは「伝統の継続と未来への進化」としています。日本臨床検査医学会とは多くのシンポジウムなどを共催開催として臨床医(検査医)の視線からの意見も聞けるようにし、病態の理解を深めようと思っています。また、世界の臨床検査情報を知るためにIFBLS国際学会とも共催シンポジウムを企画中です。会員の皆様の記憶に残る学会になればと思っています。

(平成27年度 臨時総会議案書及び2016 HYOGO JOURNAL Vol.37 No.1 巻頭言 一部抜粋)

臨時総会に続いて、桑岡史郎先生(シスメックス株)に2016年度診療報酬改定ならびに今後の医療情勢の動向について講演していただきました。兵庫県をはじめ行政機関、県医師会、各医療関係団体、賛助会員の方々には、ご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、会員の皆様には、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。



桑岡先生



各局報告

組 織

第5回 西播地区グループ研修会に参加して (3月16日)



奥谷 一真 (赤穂中央病院)

今回、石塚 正一先生(日本光電関西㈱)に『脳波検査の実際～きれいな脳波を取るコツ～』、堀井 愛美先生(帝人 在宅医療㈱)に『睡眠検査入門編～睡眠検査を初めてみませんか?～』の2コースに分かれて講義・装着実習をして頂きました。

脳波検査の講義では一般的な検査手順、アーチファクトの鑑別方法や各賦活法を、また、睡眠検査の講義では主に睡眠時無呼吸症候群の確定診断に必須となるFull-PSG^{*}装着方法や、無呼吸・低呼吸などの各呼吸イベントの解説や覚醒反応など解析に必要な基本的な知識を話していただきました。講義後の実習では医療従事者として確かな技術を習得することの重要性を感じる良い機会にもなりました。装着を実際に体験できたことで、講義で得た知識の再確認になり、普段の検査業務で抱えている疑問点や装着時に工夫していることなどの情報共有ができました。今回の研修会で得た知識を活かし、日常業務に役立てることで、検査の質の向上を目指していきたいと思います。

編集部注 ※ Full-PSG (Full- Polysomnography : フル - ポリソムノグラフィー) : 睡眠時無呼吸症候群を確定するためには、終夜睡眠ポリグラフ検査 (PSG) がある。簡易検査 (簡易 PSG) としては、気流を測定するための温度センサー (サーミスタ)、イビキを測定するマイク、夜間睡眠時の酸素飽和度 (SpO₂) を記録するパルスオキシメーター等を装着して無呼吸を検知します。一般的にはまず簡易検査を行い、確定診断をする上でさらに詳細な睡眠状態の検査が必要な場合、フル PSG 検査を行う。簡易検査の項目に加え、脳波や筋電図・眼球の動き等を測定することにより睡眠に関する情報を呼吸状態の詳細と合わせて、定量的に測定する。



石塚先生



堀井先生



広 報

神戸市医師会と獣医師会が協定 感染症対策で連携

神戸市医師会と市獣医師会は18日、鳥インフルエンザなど動物から人にうつる「動物由来感染症」の対策などで連携する協定を結んだ。対策に取り組むだけでなく、動物の飼育が人に与える精神面や肉体面での影響について実態調査や情報交換も行う。感染症の拡大防止や予防の啓発などの協定は、2014年に兵庫県医師会と県獣医師会も締結。神戸市によると、医師会と獣医師会が動物が人に与える影響の調査で協定を結ぶのは全国でも珍しいという。

(2016年3月22日 配信神戸新聞抜粋)

賛助会員

ヨラム [49]

(株) イムコア

IMMUCOR

Global Transfusion & Transplantation Diagnostics Company

梶原 正義 (営業部 近畿グループ)

Immucor (イムコア) とは Immunohematology + Core の造語です。免疫血液学の中核となることを目指して創造された企業名です。Capture[®]テクノロジーを用いた輸血検査の自動化に早くから取り組み、現在、全世界でECHO約1600台、NEO約900台をご使用いただいています。



本社：ジョージア州アトランタ
設立：1982年

イムコアのロゴには左右から虹がかかっています。これは患者様に最も適合する輸血製剤や移植臓器を選択できるようにという想いと、皆様の良きパートナーになれるようにという決意を表しています。

私たちの特徴の1つであるCapture[®]テクノロジーは、臨床的に意義のある、特に遅発性溶血性副作用の原因となるIgG抗体の検出感度に優れ、ほとんどの抗体においてPEG/IAT法と同等またはそれ以上の感度¹⁾を有しています。2014年に約10年ぶりに改訂された「赤血球型検査のガイドライン」²⁾では、同種抗体の検出において間接抗グロブリン試験は必須であると記載されています。2012年のSHOTの年次レポートでは遅発性溶血性副作用の原因となった単独抗体が原因となった症例の約50%がKidd抗体によるものと報告され、臨床的に意義のあるIgG抗体検出の重要性が広く知られるようになりました³⁾。

もう一つの特徴は、移植検査製品をもっていることです。輸血や臓器移植により患者様の生活がより良くなりますようにというのが、「Transfuse・Transplant・Transform a life (安心・安全な輸血・移植検査の実現)」というキャッチコピーに込められています。

現在、日本の本社所在地は東京の新橋です。新橋と言えば、言わずと知れた居酒屋が多い街、サラリーマンの聖地です。聖地へ巡礼の際は当社を思い出していただければ幸いです。

- 1) ONO, T et al. A comparative evaluation of two automated systems (solid phase and gel column agglutination) versus tube methods for detection of irregular antibodies. The 33rd ISBT; 2014. 107 (Suppl. 1):166.
- 2) 日本輸血・細胞治療学会. 赤血球型検査 (赤血球系検査) ガイドライン (改訂1版). 2014
- 3) Serious Hazards of Transfusion (SHOT) Annual Reports. 2012. (<http://www.shotuk.org/shot-reports/>)



県立西宮病院様でのECHOご使用風景



イムコア会議風景と
会議後の食事会

Transfuse | Transplant | Transform a life

子宮頸がん検診促進キャンペーン

『子宮の日』LOVE49 キャンペーン
in KOBE 2016 開催される

4月9日は「子宮頸がんを予防する日：子宮の日」として日本記念日協会により登録されており、この日を中心に日本全国で一斉に子宮頸がん検診促進活動である「LOVE49キャンペーン」が毎年行われています。兵庫県でも4月9日(土)と10日(日)の2日間、標記キャンペーンが開催され、当会も参画しました。

4月9日(土)は大丸芦屋店・大丸神戸店にて、暑い日差しの中スタッフ一同で子宮頸がん啓発チラシ等を配りました。来ていただいた方に子宮頸がんについての正しい知識の普及と検診のイメージアップとなるように、兵庫技によるポスターも展示しました。また顕微鏡体験コーナー、神戸常盤大学「神戸常盤LOVE49サポーターズ」によるパネル展示、女子弦楽アンサンブルBloom Quartet & Ensemble によるクラシックミニコンサートが行われました。



4月10日(日)は神戸市須磨区の大丸須磨店・須磨パティオにて子宮頸がん啓発チラシ等の配布、子宮頸がん啓発パネルの展示、神戸常盤大学生による発表、顕微鏡での子宮頸がん細胞標本の観察コーナー、“にこいち”によるミニコンサート、クラシックミニコンサート、産婦人科専門医による子宮頸がんトークショーが開催されました。男女問わず、たくさんの方に来ていただき、参加者はうなずきながら熱心に聞き入っていました。ミニコンサートには会場で立って聴いておられた方、買い物途中に足を止めて聴いてくださった方も多かったです。

多くの方々にご参加いただき、子宮頸がんや検診について啓発活動ができ、“大切な人に、大切なこと”を伝えていただけたと思います。



求人情報

*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

●医療法人 明和病院

交 通：阪神鳴尾駅 徒歩5分

採用条件：非常勤(パート)

業務内容：臨床検査技師業務

連絡先：0798-47-1964

(総務課長 小枝裕一)

●医療法人社団六心会 恒生病院

交 通：神戸電鉄道場南口下車 徒歩5分

採用条件：正社員

業務内容：検査全般(特に超音波検査)

連絡先：078-950-2622 (山崎)